



▲メッセージを書くことで、「自分だけの」ものとなるメダル型のお菓子。この時の発想が、「まいガム工房」を始めるヒントになりました。



▲昭和54年からロングセラーとなっている「カレーピーンズ」。発売当初は類似品がなく、月産約8トンを数えました。



▲見ているだけでも楽しい吉松のひな菓子。ひな祭りをより一層楽しいものにしてくれます。



▲「大手小売店への納品に限られる中、どうやって個人のお客様に販売するかが課題でした。それを解決したのがインターネットだったのです」と、花木さん。

結果は大成功。菓子を並べるためのひな段を貸し出したことが功を奏し、手間を省きたい小売店と売場を確保したい弊社の思惑が一致。評判が広がり、地元スーパーだけに留まらず、全国チェーンとの取引へと発展しました。また、ひなまつり文化に貢献したいとの思いから、平成15年より「ひなまつりドッ

他社にはない 独自の提案で活路を開く

そんな中で生き残りをかけた一手が、ひなまつり向けのひな菓子へ参入することだったのです。

インターネットで 広がる可能性

「ひなまつりドットコム」から学んだインターネットの有効性を活用したサービスが、「まいガム工房」です。本サービスは、画像データを専用サイト (<http://mygum.jp/>) で登録し、1週間から10日程度でオリジナルガムを作れるもので、小売店を通すことなくお客様から多数のご注文をいただけております。昔から慣れ親しんだマルカワのマーブルガムでオリジナル商品が作成できる点が、人気の要因となっているようです。

これからもインターネットを活用して、お客様の声に真摯に耳を傾け、多くの方にお菓子をお届けして参ります。



▲「まいガム工房」より一回り大きなサイズで、キャラメルなどが入った「まいボックス工房」は、お客様の要望から生まれました。価格は税込3,400円から。



▲税込価格は、片面印刷 48個 3,060円、両面印刷 48個 3,700円です。高額な費用をかけず、高いPR効果が期待できます。



▲オリジナルガムは、「本家」同様に個別包装されているため、人に渡す時も安心です。写真は人の手で包装しているところ。



▲専用サイト (<http://mygum.jp/>) から画像を登録します。地図や割引券、QRコードを載せることも可能です。

変わり続ける「ネット」 生き残る道

弊社は、明治36年に創業した菓子の製造卸を手掛ける会社です。菓子製造として創業後もまもなく卸売に転じ、九州での販売を強みとしていました。ところが昭和30年代後半、メーカーが地方へ直接販売するようになり、九州から撤退。岐阜県や知多半島への販売は続けていましたが、それも40年代には手を引くことになりました。



株式会社吉松
代表取締役社長 花木 淳さん

「あー!?これ知ってる!!」名前は思い出せなくても、誰もが一度は見たことのあるマルカワのマーブルガム。幼少期に食べたという方は多いのではないのでしょうか。あの四角い箱に写真やイラストを印刷して、オリジナルのガムを作るサービスが、結婚式の記念品や企業のノベルティとして人気を博しています。このサービスが生まれた背景には、個人のお客様と直接取引ができるインターネットを活用した、社長の挑戦がありました。今回は、(株)吉松 代表取締役社長 花木さんにお話を伺いました。

今月の フレンズ

Friends this month

インターネットを駆使し、

世界に1つだけの商品を届ける

Company Data [会社概要]

創業 明治36年
所在地 西区新道1-12-4
TEL 吉松：052-571-0241
まいガム工房：052-571-0160
URL 吉松：<http://yosimatu.co.jp/>
まいガム工房：<http://mygum.jp/>
事業内容 菓子企画、製造、販売

今月の表紙説明



花木さんと似顔絵が描かれた「オリジナルガム」とのツーショット写真です。本来のサイズは縦横3cm程ですが、名刺と一緒にこんなノベルティを渡されたら、記憶にばっちり残ること間違いなしです。